

|              |   |        |           |
|--------------|---|--------|-----------|
| 団体名          | 美しい山形・最上川フォーラム                          |        |           |
| 事業名          | 湧水の里魅力発信プロジェクト                          |        |           |
| 助成事業区分       | 協働助成事業（一般型）<br>【県政課題：湧水を活かした地域づくり活動の推進】 |        |           |
| 団体の<br>所在市町村 | 山形市                                     | 事業費    | 452,854 円 |
|              |   | うち助成金額 | 430,366 円 |



■事業目的 近くにあるけれど案外知らない魅力を持つ湧水から一か所を選定し、深く掘り下げ、一つの物語となるような動画を作成。動画を活用し、県内外の人が出かけ滞在したくなる場所としてスポットを当て効果的に発信をするプロモーション、アンケートによるリサーチ、感想等のフィードバックを行うことによって、地域の人でも自分の住む場所の魅力を再発見し、地域づくりを考える機会を提供することを目的として実施した。新型コロナウイルス感染拡大によって、これまで以上に地方の暮らしをライフプランとして検討する人が増えることも想定し、移住の促進にもつながるよう、美味しく安全な水環境、食、地域コミュニティにも焦点を当て、他地域への展開を目指し、事業を行った。

#### ■実施内容

【プロモーション】(1)「里の名水・やまがた百選」南陽市「舌返りの水」に焦点を当て、地域資源としての湧水と周辺のモノやコト、人をテーマにした動画を制作し発信。(2)ポストカード(QRコードをスマートフォン等で開くと動画が見られるもの)を作成し、周知拡大に活用。また SNS 等での広報も行った。

(3) JR 山形駅での広報 (1)の映像上映と県内の湧水マップや関連資料の配布を行い、周知拡大と

動画の反応や湧水の認知度や活用アイデアを調査。

#### ■事業の成果および

##### 今後の展望

【成果】外出自粛が続く中、マイナスイオンが感じられるような魅力ある湧水の映像、水環境、自然、人々の暮らしや歴史を捉えた動画や紙媒体を活用し、地域資産としての湧水を1つのコンテンツとしたことにより、地域の資産として事業終了後も動画の活用につながった。令和2年の豪雨水害に触れたことや映像の内容から、視聴者が環境保全についても結果的につながって考えてくれていることは、作り手の予想を超えた効果だった。当団体で実施している「環境」「地域」「人」づくり事業と一緒に実施することで、単独での実施よりも高い効果があり、幅広い展開や新たなつながりができていることが見えてきた。

地域の方に取材をし、深く触れ合うことで、地域側の思いやニーズ、現状を知り、内容に深みが増し、また、アンケートにより、発信のみの一方通行ではなく、県民が求めている情報やニーズを知ることが出来た。

【展望】単年度、一度の映像で終わらせるのではなく、実際に足を運んだ方からの感想や発信も参考にしながら、シリーズ化

する等、動きを出していく必要がある。環境保全、歴史や文化の継承、地域づくりとリンクさせながら進めることによって、県内の湧水全体の価値を高めることにつながっていく。今回作成した動画、ポストカードを事例として、他市町村にも呼びかけ、新たな物語を紹介していきたいと考える。また、オンラインなども活用した現地ツアーや湧水を体験できる機会等を地域の団体の課題やニーズを聞き取りながら提案していく。県内での外出、地方への移住の大きなポイントとしても湧水の魅力を伝え、一極集中ではなく、地方で暮らしながら仕事をする新しいライフプランの提案、ゴミ削減や再生可能エネルギーを考えるきっかけづくり、災害時にも役に立つヒントも提案していく。



動画はこちらから📺

<https://youtu.be/1433PTAIsDk>